

導をベースにした実践を行う必要があるのです。

2 山口学級活動ネットワーク冬の学習会の感想

1月9日、恒例の冬の学習会を行いました。総勢50名弱の参加があり、たいへん盛り上げていただきました。参加された先生方から感想をお知らせします。

*今まであまり深く考えずにいいかげんにしていた特活の評価について今日はしっかり考えることができました。担任をはずれていても、熱い思いを持ち続けるために、この会に参加して本当によかったです。

一人ひとりを見て、一人ひとりに評価をしていくことが大事なのは、今、児童支援加配の教育相談担当として通説に感じています。

*勉強になりました。そして恥ずかしくなりました。学級の子どもたちに申し訳ないです。今までの子どもたちにも…。学級会をきちんと行ったことがありませんでした。今日、学んだこと、一つでも少しでも3学期に実践していきます。まだ遅くない。そう思っ
てがんばります。

映像は、とてもわかりやすく、心に響きました。子どもたちの生き生きとした表情が心に残りました、こんな学級にしたい！と思いました。ありがとうございました。

*ワークショップで清掃活動についての評価について考えました。他の先生方といろいろ検討していく中で、はじめはよく分からなかったことやあいまいだったことが、見えるようになってきたのが、素直に嬉しく感じました。

また、たくさんの実践事例を聞くことができ、これから自分も取り入れたいことがたくさんありました。

杉田先生のお話を聞き、日々の自分の甘さを痛感しました。子どもたちのためにできること、まずは学級会から変えていけたらいいなと思っています。

*4月の会に続いて参加させていただきました。提案、ワークショップ型研修では、評価を具体的に考えていくことを通して、子どもに求める姿として考えることができたのは、自分の大きなプラスになりました。もちろん、今までやっていなかったわけではありませんが、意識的に行うこと、また責任をもって指導していくことが大切であることが身にしみて分かりました。杉田先生のお話から、その思いはいつそう強くなり、さっそく3学期から取り組んでいきたいと思います。

*明日からの自分の学級経営にいろんな思いが入りそうです。強い意志をもって言動していこうと勇気ももらいました。同学年の歩調もありますが、がんばります。

*「教育を本気で語らなければ… 特活にはそれができる（杉田調査官）」

この言葉を自分なりに情熱をもって実践していきたいと思います。

*各学校の先生方の実践を学ぶことができ、有意義な学習会でした。普段あまり意識していなかった評価について、これから実践していきたいと思います。

ありがとうございました。次回も参加させていただきたいと思います。

*初めて参加させていただきました。とても勉強になっただけでなく、元気ややる気をもたらした有意義な一日となりました。現在、3年生を担当しています。3学期に取り組んでみたいことがたくさん見つかりました。杉田先生をはじめ、どの先生の発表でも、子どもたちのすてきな笑顔がたくさんありました。望ましい人間関係を築いている様子、そのために様々な工夫や手立てを講じておられることが伝わってきました。

子どもたちの温かい笑顔が見られるクラスをつくっていききたいと思います。ありがとうございました。

*初めて参加させていただきました。

評価の部分の話と特活を原点に戻って学ぼうと思いました。4月から新学習指導要領がスタートしますが、今日の会を通して、全国の方々の熱い思いが伝わり、本当に元気が出てきました。ありがとうございました。

今回、初めての参加でしたが、ネットワークの先生方の特活、もっといえば学級経営・学級集団づくりにかける熱い思いにふれることができ、元気をいただいたように思います。

実践発表では、前回の発表を受けて、今回、さらに次回へと、レベルを上げておられる姿に熱い思いを感じました。様々な困難は当然のことながらあるのですが、子どもと真摯に向き合いながら、学級づくりをしておられる様子がよく分かりました。また、紹介された子どもたちの笑顔が本当にいいですね。学級の温かさ（ぬくもり）も伝わってきます。今の自分をふり返ると、忙しさに紛れて、初心を忘れていたよう思います。こんな子どもの笑顔を求めて、がんばっていききたいです。

ワークショップでは、先生方との話し合いを通して、具体的な子どもの姿をイメージすることで評価の基準が見えてきました。具体的な評価の視点（子どもの姿）をしっかもつことで、指導の手だても具体的になってきます。なるほどなと思いました。私の班は、「学校行事」で「6年生」でした。もっと時間があれば、段階的に系統的に整理できたと思います。ひとまず、提案（S）→自主性（A）→支援のもとに・・・（B）→支援があっても・・・（C）というキーワードでまとめることができました。6年生だけだったので、中学年では・・・低学年では・・・どうなのかなという疑問も湧きました。つまり、高学年のA段階が中学年ではS段階で、高学年のB段階が中学年のC段階で・・・？でも、ちょっと違うな・・・？という感じです。

ひとまず、国研の規準の文言では分かりづらい子どもの姿をイメージすることの大切さ、そして言葉に「こだわる」ことの大切さを学びました。本校では、話し合い活動を中心に、評価の観点を整理していたのですが、実際の活動についての観点があいまいでした。本校の研修の中にも、このようなワークショップを取り入れ整理してみたいと思います。

杉田先生のご講演は、鳥取でも何回か聞くことができました。最近では、11月の稲葉山小学校での発表会。スライドやビデオも同じものもありましたが、評価に関しては新鮮に聞くことができました。ただ、説明が早すぎてメモをとることもできず、ICレコーダーには録音していたのですが、やはりスライドと合わせて聞いてみないと、思い

出すことができませんでした。ひとまず、杉田先生の著書も読んでおかないと、理解できないかと率直に思いました。

ご講演の中にもありましたが、本気で取り組もうとする強い意志がないとだめだと感じました。そういう意味ではいい刺激になりました。

本当に短い時間でしたが、みなさんの地道な取り組みに敬意を表します。

本校の職員にも、研修会の様子を紹介することになっていますが、熱い思いを、どこまで伝えられるか不安です。まずは、「参加すること」ですね。そこから、ネットワークを広げていく・・・語り合っていく・・・ですね。学級活動のネットワークが広がり、さらに充実したものになるよう、心からお祈り致します。(メールにて)

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は280名弱ですこれまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、メールリスト「学級づくり夢工房」を行っています。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴 (下関市立名池小)

津村元文 (美祢市立伊佐小)

吉田哲朗 (山口大学附属山口小)

西田智行 (下関市立垢田小)

福永博一 (萩市立椿西小)

=====